

1 開会

2 教育長あいさつ

3 委員長あいさつ

4 協議

(1) 小中学校の整備方法の検討について

(事務局) 資料 No.1 整備方法の検討について、

資料 No.1-1・1-2 学校整備に係る起債償還シミュレーションの説明

(委員長から)

- ・河北町では、財政上の理由から、まずは小学校を整備し、小学校開校から10年後開校を目指して中学校を整備するという話がありました。今のご説明に対して、皆様から質問ならびに意見をいただきたいと思います。今の説明に対し、ご意見等がありますか。

(委員から)

- ・最初は小学校を統合するという話で、小学校と中学校の接続が大事だから、小学校と中学校の校舎を一体で整備するという話があったと思います。それが、今の説明では、小学校だけを整備して、中学校は整備しないという話になっています。

(事務局)

- ・基本方針までの段階では、理想的な整備方法として、小学校と中学校を一体的に整備することを検討していました。本整備委員会で、建設地について話し合い、中学校の校地に整備することが決定しました。整備方法として、小学校を整備して段階的に中学校を整備するか、小学校と中学校を一度に整備するかを検討しました。令和13年度に開校する条件、財政上の条件を検討した結果、まずは令和13年度開校に間に合うよう、統合小学校のみを整備し、財政的に整備可能となる時期に中学校を整備するということになりました。学校ができても町の財政が破綻しては困るので、ご理解いただければと思います。

(委員から)

- ・資料には、中学校の改修費が入っていないのではないかでしょうか。
- ・渡り廊下をつくるとコストがかかるのではないかでしょうか。屋根だけということもあるのではないかと思います。

(事務局)

- ・中学校の改修費はこの資料には入っていませんが、中学校は改修しながら使っていくことは想定しています。給食を運ぶことが必要なため、渡り廊下は屋内になると考えています。

(計画支援)

- ・渡り廊下の長さについては、今後の設計段階における配置計画の課題だと思います。できるだけ効率的に設計する必要があると思います。コストについては、居室ではなく空調等もないため、他の校舎部分と同じ面積単価で増えるというわけではありません。

(事務局)

- ・本日は欠席している各校長先生からもご意見を賜っていますので紹介させていただきます。校長会の会長である南部小学校長から、「小学校と中学校の接続方法を十分に検討し、交流を促進する接続や共有スペースの確保等を熟慮すべきではないか」、「学童クラブも必要ではないか」という意見がありました。
- ・また、河北中の校長先生から同様の意見がありましたが、令和23年度を目安として河北中学校の整備を行う場合、それまでの16年くらい、今の河北中校舎を使っていかなければならず、維持管理や安全性確保のための修繕等が望まれるということで、町としても計画的に修繕を進めていくように考えていきます。

(委員長から)

- ・校長先生方からも、ご意見をいただいたところです。他にございませんか。小中学校を同時に整備しようとすると、町の予算を超えてしまうことがあります。将来的に町の財政に大きな影響を与えることになります。人口減少の中で税収が増える可能性も見込めない状況であるというようなことも勘案したときに、ギリギリできることということになると思います。

(事務局)

- ・新庁舎整備の起債償還を踏まえて、小学校をまず整備して、中学校を10年後に整備するという計画であれば、これから町でも施設整備が可能であるということを財政との協議の中で確認したということです。事務局としては、先ほど申し上げたとおり、まずは令和13年度の統合小学校開校は動かさないことを考えていますが、これに対してご意見がございましたらお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

(委員長から)

- ・町としてできる範囲内で整備することだと思いますが、ご了解いただけますでしょうか。

(委員長から)

- ・時間も限られていますので、一旦、説明をしたということで、他の協議事項について説明をうかがう中で、分かってくるところもあると思いますので、次の協議に進みたいと思います。

## (2) 整備コンセプトについて

(計画支援) 資料 No.2 の整備コンセプト部分を説明

(委員長から)

- ・整備コンセプトの修正案についての説明がありましたが、これに対してご意見ございましたらお願ひします。
- ・私としては義務教育学校と小中一貫校の違いが理解しにくいということで、9年間と言ってしまうと一体化してしまうような感じがするわけですが、一つの小学校、一つの中学校を整備し、より密接に結びつけるという、「小学校と中学校の学びを一つにつなぐ」というのはよい表現ではないかと思います。
- ・ただ、2番目のコンセプトについても「地域」が入っているのは、いろいろな問題も生じます。今まで6つの小学校があったものを1つの小学校として、どう連携していくかが、これから検討課題になってくるかと思います。地域を整えて、町が一体化していくことも必要なかなと感じています。
- ・4番目に「子供たちの未来を創る」という表現が入っており、これは非常に大切なことだと思います。「子供たちの未来」は「地域の未来」ということにもなるわけで、私としては、すべてが含まれており、このコンセプトでよいと思います。

(委員から)

- ・細かい話ですが、「子供」とあるのは、「供」がよくないということで、いろいろなパンフレットなどを見ていると「子ども」になっていると思います。「子ども」ほうがよいのではないかと思います。

(計画支援)

- ・以前は、「供」というのがよくない意味があるということで、「子ども」を使っている時期がありましたが、近年では「子供」という表現が決して悪い意味ではないということで、文部科学省の資料は「子供」を使うようになっています。

(委員長から)

- ・報告書に使用する単語については、文部科学省と同様の表記を使うということでよいと思います。

(委員から)

- ・2番目のコンセプトで、前回は「地域」を加えるという意見をしましたが、改めて見て、「地域住民」としたほうがよいか、「地域の方々」という表現のほうがよいかと思ったところです。

(委員長から)

- ・「地域」といったときに、もちろん構成するのが人間であることを考えれば、地域を人ととらえることもできますが、地域を自然ととらえることもあります、微妙な違いもありますので、そのような意見があることを踏まえて、事務局のほうで検討をしてみてください。よろしくお願ひします。

### (3) 基本構想（素案）の中間報告について

（計画支援） 資料 No.3 河北町立小中学校基本構想（素案）の説明

（委員長から）

- ・非常にボリュームがあるわけですけれども、これまでの検討の流れや結果を踏まえて示されているかと思います。

（委員から）

- ・P10 にかかわるかもしれません、どうして小中一貫校でなくてはだめなのかといったときには、一緒にいると連携がしやすいので、同じ場所でないとダメだと言われてきました。納得はできなかったですけれども、みんなの意見ですからやむを得ないと思ってきました。その時には、同じ場所にすぐに小学校と中学校の校舎ができるようなイメージで進められていたと思います。私は「財政的なものが何も出てきていらないのに、そのようなことができるか」と話した覚えがあります。今回の資料を見ると、小学校が先にできて、中学校がその10年後にできるということですね。以前のイメージだと、一緒の敷地に一緒に校舎がパッとできるイメージだったので、10年後というなら、本当に今整備が必要なのか、そんなに急ぐ必要があるのか、という感じも出できます。そのあたり、すっきりしないというのが現状です。整備できるということはよいことなのでしょうけれども、前に言っていたことと、すり替えられているような感じが少しある印象だけ、お話をされておきたいと思います。

（事務局）

- ・小学校のあり方検討は、小学校を一つにしていく必要があるというところからスタートしています。あり方検討では、できるだけ早くということで「最短で令和13年4月開校」を目指すということになりました。
- ・一つの小学校にしていくにあたって、建設地の検討をいただきまして、令和13年4月に間に合わせるには、河北中学校の敷地の中に建てるのがよいという整理をしたと思っています。
- ・基本方針の中では、望ましい形は小中同時に一体整備がよいというようなことが書かれているので、そこに向かって検討していたわけですけれども、方針検討の段階では財政的な議論は、まだ行われていませんでした。おっしゃるとおり、財政的な部分は示さずに、小中一貫に向けて理想的な姿を求めていたところです。ただ、いざ事業費の積算をすると、町の財政がどうしても許さないというところがあり、今回は統合小学校だけを先に建てて、後に中学校をつなげていくというかたちになったということです。

（委員長から）

- ・これまでの流れの中で、ある意味紆余曲折しているところもあったかと思いますが、方向性から見て、このような流れになったということです。これはその経過について

は、中間報告には出てこないかと思いますが、これからの中流れの中で、説明していただいたようなことを十分に踏まえて、おそらくこれから住民説明会もあると思いますので、わかりやすく説明していただければありがたいと思います。他にございませんか。

(委員から)

- ・先ほど、校長先生からの意見にもありました、学童の部分が大きな課題になってくるかななどということがあります。学童の部分を除いたかたちで説明するかどうか、そこが気になります。

(事務局)

- ・実際に施設運営されている学童クラブ関係者と話し合いを定期的にさせていただいています。現在、学童クラブを利用する児童数は、学校に登校する児童の 1/3 程度の割合の人数になります。統合小学校の児童数が 400 人程度になりますので、120～150 人程度になると思います。その人数を 1 カ所の施設で受け入れられるかという議論をしています。
- ・現在の施設は 4 地域にそれぞれあるわけですけれども、関係者にも意見をいただきながら最も良いかたちを目指す中で、まずは現在のかたちを継続していくべきと考えています。ただ、送迎については別途考えていかなくてはいけないと思います。

(委員長から)

- ・本日はもう一つ議題がございます。基本計画の検討の中でも、学童部分を含めて広げるべきか、もう一度検討してみることになると思いますので、(4) の議題の検討に進みたいと思います。

#### (4) 基本計画の検討について

(計画支援) 資料 No.2 のテーマ 1 を説明

(委員長から)

- ・まずは、野球場、テニスコートについて、ご意見をお願いします。

(委員から)

- ・野球部が何人、テニス部が何人かという情報がほしいです。その中で、野球部が単体で存続していくか、テニス部はどうか。令和 13 年度にはもう少し減るかもしれませんとも思っています。

(事務局)

- ・わかる範囲で説明させていただきます。ソフトボール部はもうない。ソフトボールをやりたい方はクラブチームに入っています。野球は単独で試合に出場可能なくらいの人数があります。テニスも女子は団体戦に出ているはずです。

(委員から)

- ・今年は合同で野球をしています。河北中学校よりも他の地域のほうが人数は少ないの

で、他の地域から河北中にきて合同で練習している状況です。詳しくはわからないですけれども、西川中、大江中も河北中にきて一緒にというかたちだと思います。

(委員から)

- ・これから生徒数が減るのは確実なので、あと5年なりにどのように活動をしていくかを考えなくてはと思います。

(委員から)

- ・施設の整備は必要か、どこにその場所を置けばよいかという意見をほしいということなのですけれども、校舎を建てるには狭いということですけれども、手っ取り早いのはやはり中央公園かと思います。中央公園はよく散歩しているけれども、駐車場はよく利用されています。ただし、中心の小高い芝生のところでは、何も利用していないなといつも見てています。テニスコートもあったと思います。中央公園あたりを徹底的に使うというのが一番よいと思います。

- ・もし、できないことがあれば、一番近いのは谷地南部小だから、そのグラウンドを利用するというというのが一番良いのではないかと思います。

- ・ただ、中央公園の場合、道路を渡らなくてはならないから、交通事故のもとになるのではないかと思うので、歩道橋を設置するなどして、中央公園をフルに活用すればよいのではないかというのが、個人的な意見です。

(委員長から)

- ・ありがとうございます。サンスポーツランドなどもあがっていますけれども、どうでしょうか。

(委員から)

- ・サンスポーツランドまで行くのに10分かかります。利用するのはスクールバスということだが、サンスポーツランドまでの道路の広さを見ると、スクールバスが簡単に登っていけるような状況ではないと思います。

- ・サンスポーツランドの野球場は硬球が使えないで、谷地高校の生徒が利用できないことがあります。テニスコートや駐車場にボールが落ちると危険だということです。谷地高校の生徒に練習してもらうためにいろいろ頑張ってきたいうところもありましたが、なかなか難しい状況でした。

- ・まず、通うことが大変です。ネットを高くするなど工夫が必要になるということで、安全性も考えていいければ良いのかなと思いました。

(委員から)

- ・先ほど、資料1の説明がありましたが、部活動で利用する場所の整備費は含まれていないという理解でよいでしょうか。

(事務局)

- ・おっしゃるとおりです。

(委員から)

- ・中央公園よりも遠いのはダメです。絶対に使われないと思います。昔、私も7年近く谷地中学校の体育館を使って部活をやったのですけれども、生徒の移動も大変だし、指導する教師も毎日行かなくてはならないということで、それは不可能だと思います。
- ・部活動は敷地の中ではないと不可能ではないかと思います。

(委員長から)

- ・大変、大きな意見かと思います。今後、部活動の地域展開の話もあり、生徒数もだんだん減ってくるかとは思いますが、移動ということを含めた場合に、何が一番良いか、これは大きな検討課題かと思います。

(計画支援) 資料 No.2 のテーマ 2 を説明

(委員長から)

- ・町民プールを利用するときに問題ないか、この方向で事業を進めることについてよろしいかということですが、ご意見等をお願いします。

(委員から)

- ・時間の調整がつかないときには、谷地南部小や谷地中部小を使うことも検討できないでしょうか。

(事務局)

- ・学校のプールをそのまま維持していくのは、大変だと考えています。
- ・無駄とはなかなか言いにくいのですが、せっかくある施設を活用した方がいいのではないかということで、一つ、各校長先生のお話についてもありますので、ご紹介させていただきます。「町民プールでの水泳学習についても基本的に賛成で、町民プールの利用拡大や夏季休業中の継続利用などメリットが複数あると考えます。但し、安全対策として、提示されている学年に応じた利用プールの変更や水深調整台の利用は欠かせないと思います。また、町民プールの監視員を水泳学習中も任用し専門的に監視する立場の人間が配置されることで、より手厚い水の事故防止と担任の負担軽減にも繋がると思います」という意見です。

(委員長から)

- ・学校統廃合の計画では、公共プールを利用して、学校内にプールを設置しない事例が多いと聞いています。町の連携の中で、どちらを優先するかという意味で、これから的基本となる考え方だと思います。

(委員から)

- ・町民プールを利用するという方向で決定されたと考えています。その場合、バスを使うということなのですけれども、運転手の確保は可能なのですか。

(事務局)

- ・スクールバスを含め、運転手の確保は大きな課題となると思っています。スクールバ

スについては、葉山タクシーにお願いしているところです。葉山タクシーでも人的な不足が生じているということもあり、今後、調整することになります。

- ・現在、普通のバス、町営バスを含む町の公共交通については、スクールバスを含めて、どのようにしていけば良いかを一体的に検討中です。2種免許がなくてもスクールバスの運転ができるとのことです、大型免許が必要です。10人乗り程度のバス利用が可能か等、検討が必要だと思っています。

(委員長から)

- ・課題については、クリアする前提で進めていっていただければと思います。

(計画支援) 資料 No.2 のテーマ3を説明

(委員長から)

- ・施設のゾーニングについて説明がありましたご意見等をお願いします。

(委員から)

- ・教室については、いわゆるオープンスペース的な考え方で見ればよいのですね。

(計画支援)

- ・河北町の既存小学校は、ほとんどの学校がオープンスペースタイプで、少人数学級ということはありますが、うまく利用できている状況を現地調査で確認していますので、まずはオープンスペースタイプを基本として組み立てています。

(委員から)

- ・学童クラブを校舎に入れるとすると、この面積の中につくるということになるでしょうか。

(計画支援)

- ・学童クラブを組み立てる場合には、別途面積を追加する必要があると考えています。将来、整備するということであれば、将来の設置スペースの確保を条件とします。

(委員から)

- ・教室の並びや方位、1階か2階かなどがわからない。将来的に中学校が南側に入るわけですので、そのときはまた構成が変わるかどうかですね。検討図には遊具とか、菜園と書いてあるのですけれども、令和13年のスタート段階では遊具もないで。グラウンドは南側にあって、それが将来的に遊具や菜園になるということもあると思いますが。

(計画支援)

- ・現在は、基本計画段階ですので、校舎の具体的な配置や教室の具体的な位置は、今後の設計段階に協議しながら決まっていきます。計画段階では、配置は何を大事にしながら設計するか、教室はどのように利用するから、どのような配置を目標とするかという設計の前提となる目標を示す段階です。この段階で設計をしてしまうと、設計の自由度が狭まり、本来可能な合理的な設計ができなくなってしまう恐れがあります。

- ・今回は、地域利用したいところはどこですか、ということも伺えればと思います。

(委員長から)

- ・例えば体育館であれば、地域活用を含めた時に、シャッターをどこにつけるかとか、そういうことも含むのですよね。
- ・いかがでしょうか。ちょっとわからないところがありますよね。先ほどの体育館のところなんかは地域の利用というものは確実にしていくと考えてよいと思います。
- ・河北町の場合、図書館は地域に立派な施設があるから、町立図書館と一体化するようなことはないわけですね。あくまでも学校図書館でよい。
- ・問題は、災害があったときに、そこが避難場所となれば、避難者と学習の成立、授業の成立、この辺はある程度加味する必要があると思います。大変難しいところですけど、いわゆる避難ゾーンと学校で使うゾーンというものの区分け、教室の方は災難があっても使えるというようにしていくというのが普通の考え方になると思います。このように専門的にもなりますが、どうでしょうか。何かご意見ございましたら出していただきたいと思います。ちょっと難しい、わからないというようなところがありますので、今のような説明をもとにしながら、検討を進めていっていただければと思います。よろしいでしょうか。

(委員から)

- ・防災関係は、各地区でという感じになってきます。おそらく、各地区のほとんどは小学校が避難場所になっていると思いますけれど、小学校は全部残すことが前提ですか。

(事務局)

- ・統合した後の残った小学校をどうしていくか、その辺りは全く議論されておりません。ただ、今後統合していくわけで、活用については、町全体として考えていく必要があるという課題認識を持っております。

(委員長から)

- ・非常に大きな課題について説明いただきました。よろしいでしょうか。

## 5 その他

(事務局)

- ・これまでの経過をまとめた基本構想の素案の段階でありますけれども、コンセプトなども出てきております。これと同じ資料を持って、教育委員会、議会の方には説明させていただきたいと思います。また、もう少しわかりやすい資料にして、9月29日から地域説明会に入っていく予定です。
- ・9月29日サハトべに花、10月1日サハトべに花、10月6日北谷地、10月9日溝延で、いずれも夜、あとは10月13日（祝日）の日中にサハトべに花を予定しています。9月15日の広報に載せさせていただきますので、よろしくお願ひします。
- ・説明会で出てきた意見をもとに、次の第五回整備委員会を10月下旬あたりに開催でき

ればと、考えているところであります。

(委員から)

- ・地域説明会には、どのような人に案内を出し、どのくらい参加する想定ですか。

(事務局)

- ・町民の方は誰でもお越しいただいて問題ないです。広く町民の方に説明したい。
- ・今のところ広報で住民説明会をする案内をさせていただきたいと思っています。
- ・実際に新しい学校に入学することになる、幼稚園、子ども園の保護者には直接案内することや、学校にお願いして連絡網で案内を出すなども考えられると思っています。

(委員から)

- ・その周知は、小学生は行ってはダメですか。ダメということはないとは思いますが、例えば、その実際に入学する人たちにも、もしくはその先輩になる今の中学生たちにも、話を聞いてもらったほうが中学生が大人になって、河北町に住んだ時にも良いのではないかなと思ったりします。

(教育長)

- ・まずは、自己ごととして考えられる方に聞いてもらいたいと思います。子供たちには基本設計、あるいは実施設計ができた段階で意見を聞きながら、実現可能なことを採用していきたいなと思っています。

(委員長から)

- ・特に制限するものではないということだと思います。他にございますか。なければ、第4回の河北町立小中学校整備委員会の協議を閉じさせていただきます。

## 6 閉 会

(事務局)

- ・以上を持ちまして閉会とさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。